

新評論

2016

6

No.266

発行所 © 新評論 2016年
〒169-0051 新宿区西早稲田3-16-28
TEL03-3202-7391 FAX03-3202-5832
http://www.shinhyoron.co.jp
e-mail: shrm@shinhyoron.co.jp
振替 00160-1-113487 価格税抜



小田原市内に建つういろう本店。唐破風造りの城郭風の建物は街のシンボルとなっている。

室町時代の小田原は、早雲公が遷都を考えていたのかと思うほどの文化的先進都市だった。「ういろう」の歴史からその豊かさへ迫る。

「ういろう」にみる小田原

早雲公とともに城下町をつくった老舗

深野 彰 編著

小和田哲男氏(静岡大学名誉教授・小田原ふるさと大使)絶賛!

◆ジャンル:小田原の歴史/歴史紀行

神奈川県小田原市には、創業一〇〇年を超える企業が数多くあり、驚くべきことに江戸時代以前から続く企業もある。なかでも、小田原で五〇〇年の歴史を重ねる業・菓子製造販売業の「株式会社ういろう」は、この街を代表する老舗と言える。同社を営む外郎家は、京都時代から数えると六五〇年も続いており、現当主の外郎武氏は二五代目にあたる。

「ういろう」の名をもっとも世に広めたのは、歌舞伎十八番「外郎売」であろう。市川團十郎が口上する有名な「ぶくばくぶくばく(武具馬具武具馬具……)」の長台詞は、現在でもアナウンサーや俳優の発声・滑舌訓練に使われているそうだが、小田原といえば、戦国時代を切り拓いた梟雄・北条早雲を思い浮かべる人も多いだろう。北条五代は一〇〇年間にわたって関東の覇者として君臨した。城下町全体を土塁と堀で囲った「総構」は日本初の城郭都市であり、小田原は勇猛な武将が治めた砦の街というイメージが強いかもしれない。しかし実は、室町から戦国の世に花開いた豊かな文化都市でもあった。和歌、連歌、絵画、一節切、茶の湯などが盛んで、京の都からも多くの文

化人が小田原を訪れていた。

本書は「ういろう」の歴史を縦糸に、小田原にかかわる人々を横糸にして、小田原という街の歴史といまを描いたものである。また、現在市内で活躍されている方々にお集まりいただき、「これから小田原」というテーマで座談会を行い、その記録を巻末に収録した。

北条早雲に招かれて京から小田原へ移住した外郎家は、医薬品製造を生業としながらも、北条家の重臣として「軍師」「外交」などの役割を担っていたとされる。二五代当主へのインタビューによって明らかにされる外郎家の歴史を知ると、読者はきつと小田原の街を歩いてみたくなるだろう。そして七月には、京都の祇園祭や静岡岡森町の舞楽(いずれも外郎家と深いかわりがある)を観に行くことになるかもしれない。

(ぶかの・あきひ)

ISBN78-4-7948-1041-0 6月上旬刊

四六並製 予三二〇頁十カラ口絵八頁

予一八〇〇円

蘇州通信

好評刊 (暮らしで知ったディープな中国)

三三〇〇円

著者 小田原市在住のエッセイスト。1949年東京都生まれ、早稲田大学大学院理工学研究科修士課程修了。小田原市文化振興ビジョン推進委員会委員。小田原市社会教育委員会委員。おだわら文化事業実行委員会委員。小田原市文化レポーター。



昭和30年代の花見の光景。大量のゴミが放置されている（写真提供：東京都環境局）

前作「昔はよかった」と言うけれど」に続く第2弾。戦後から現在までの生活風景を新聞記事や写真を基に考察し、日本人のマナー・モラルの変遷を読み解く

「衣食足りて礼節を知る」は誤りか

戦後のマナー・モラルから考える

大倉幸宏

◆ジャンル：社会／社会学／道徳観

日本は戦後、急速な経済発展を遂げて豊かになった。その一方で、人々の心は貧しくなり、道徳は低下していった。今日、多くの人がこうした言い回しを定説のごとくとらえています。とくに近年は、「道徳の低下が顕著になっている」という指摘も少なくありません。実際、それを裏付けるかのような出来事は日々起きている。

一方で、海外との比較において、日本の治安の良さや日本人のマナー・モラルの高さがメディアで取り上げられることがしばしばあります。なかでも、二〇一一年の東日本大震災に際しては、人々が冷静に秩序ある行動をとっていた様子が海外メディアで報じられ、世界中で賞賛の的となったことは記憶に新しいところです。

今日、こうした相反するような言説が並存しています。いったい、日本人のマナー・モラルは高いのでしょうか、低いのでしょうか？ もし低いのなら、それは戦後にもたらされたのでしょうか？ また、諸外国におけるマナー・モラルの水準は、日本をさらに下回っているのか？

しうか？ あるいは、今日の日本人の道徳水準は、総体的に見れば十分高い水準にあるのでしょうか？

本書では、こうした疑問を解くため、戦後日本が経済発展を遂げていくなかで、人々のマナー・モラルがどう変化していったのかを考察します。なかでも、日本人が「衣食足りて」の段階へと進んだ昭和三〇年代から四〇年代を中心に、日本社会の状況を分析します。そして、今日の日本人の道徳水準をいかに捉えるべきか、そのメンタリティーにも踏み込みながら、一つの視点を提示します。

なお、本書は「高評をいただいた『昔はよかった』と言うけれど」の続編にあたります。前書とあわせて読むことで、近代以降の日本人のマナー・モラルについて、より深く理解することができるよう。

（おくら・ゆきひろ）

ISBN 978-4-798-1042-7 6月下旬刊
四六並製 予二五六頁 予二〇〇〇円

好評刊
「昔はよかった」と言うけれど
（戦前のマナー・モラルから考える）
大倉幸宏
二〇〇〇円

著者 1972年、愛知県生まれ。新聞社、広告制作会社勤務等を経てフリーランスのコピーライターに。広告媒体を中心に、幅広い分野で執筆活動を行う。前者「昔はよかった」と言うけれど―戦前のマナー・モラルから考える」は、池上彰氏をはじめ多くの識者から高い評価を得た。

日本の地域産業・中小企業は、一九八五年頃をピークに退出が目立ち、新規参入は極めて少ない。その主な要因は、対外的には周辺諸国の工業化（生産移管の進展・低価格品の輸入増）、そして国内的には日本の成熟化（事業家意識の低下）、少子高齢化（担い手不足・国内市場の縮小）ということになる。

「頑張れば成功する」という一元一次方程式の時は過ぎ、成熟化の中で多様性と質を追求すべき今、地域産業に求められるものとは。

地域産業の「現場」に行く

誇りと希望と勇気の30話

第9集 地域発「新たな方程式」の創出

関 満博

◆ジャンル：地域産業



秋田市三種町のマッシュファミリーが開発した大型キノコ「白神あわび茸」の出荷作業。肉厚でアワビに似た食感が人気を呼び、市場を拡げている。

特に近年では、戦後から高度成長期にかけて創業ないし承継してきた経営者が引退の時期を迎え、事業的にも一つの盛りを過ぎたこと、さらに後継者を見通せないことから退出が顕著に進んでいる。このような傾向は、日本の製造業のアジア・中国進出が活発化した九〇年代中頃から強まってきた。一方、継続する事業者の多くは、新たな構造条件に対応できないまま縮小に身を委ねてきた。

それから四半世紀、すでに構造的

なものとなった内外の諸条件を受け止め、新たな方向に向かおうとする地域産業・中小企業がようやく登場しつつある。いまや日本は成熟化を迎え、かつてのように量を追う時代ではなくなっている。また人口減少と高齢化の中で、これまでとは異なる課題が浮上する一方、従来は考えられなかった市場が拡がっている。

「頑張れば成功する」という一元一次方程式の時は過ぎ、様々な条件Ⅱ変数を考慮した上で多様性と質を追求しなければならぬ「連立方程式の時代」に入ったのである。

シリーズ九冊目となる本書では、こうした視点に立ち、「Ⅰ新規創業、新事業領域に挑戦」「Ⅱ伝統的な地域産業の未来」「Ⅲモノづくり中小企業の行方」という三つのテーマを設定した。各地の「現場」で、独自の新たな方程式を創出しようとする人びとに出会うことになった。戦後七〇年を迎え、国内的にも国際的にも大再編が起きようとしている中で、いかに道を切り拓けるか。それが現在の地域産業・中小企業の最大のテーマとなっているのである。

（せき・みつひろ）

ISBN978-4-7948-1040-3 6月刊

四六並製 二四八頁 予二四〇〇円

地域産業の「現場」に行く

誇りと希望と勇気の30話

【既刊第1～8巻】①二二〇〇円 ②③④二四〇〇円

中山間地域の「買い物弱者」を支える

（移動販売・買い物代行・送迎バス・店舗設置）

五二〇〇円

著者 1948年生まれ。明星大学経済学部教授、一橋大学名誉教授。博士（経済学）。東日本各地の震災復興・産業再生にアドバイザーとして携わる。本シリーズや代表作『東日本大震災と地域産業復興Ⅰ～Ⅴ』のほか、『6次産業化と中山間地域』など編著書多数。

政治思想家としての
グルトヴィ

オヴェ・コースゴー／清水 満訳

著名な教育改革者の政治思想に
光を当てる意欲作。民主国家デン
マークの成立過程が浮き彫りに。
四六並製 二八八頁 二五〇〇円

『聖教新聞』書評

ISBN978-4-7948-1027-7



動物と戦争

J.A. ジョージ・セシル・ウェル／井上太一訳

「真の非暴力へ、《軍事・動物産業》
複合体に立ち向かう」「人間以外
の動物」の視点から「平和」を問う。
四六上製 三〇八頁 二八〇〇円

『週刊金曜日』他紹介

ISBN978-4-7948-1021-2



『日本経済新聞』書評

ISBN978-4-7948-1022-9

アルジェリア
人質事件の深層

桃井治郎

「暴力の連鎖に抗する『吾テロ』の思
想のために」二〇一三年一月の
悲劇を解明し、抵抗の思想を紡ぐ。
四六並製 一三三頁 二〇〇〇円

『東京新聞』他紹介

ISBN978-4-7948-1035-5

新版
現代ブラジル事典

ブラジル日本商工会議所編

サッカーやカーニバルだけじゃ
ない！ビジネス・研究・旅行に必
携の最新・最良の決定版ガイド！
A5上製 二五六頁 三三〇〇円

外食国際化の
ダイナミズム

川端基夫

「新しい『越境のかたち』」空前と
も言える外食業の「海外進出の実
態」を精緻な調査で分析・解明！
四六上製 二五六頁 二八〇〇円

『日本経済新聞』他紹介

ISBN978-4-7948-1026-7



崩壊5段階説

ドミートリ・オルロフ／大谷正幸訳

「生き残る者の知恵」資源・エネル
ギー供給の減少・崩壊を考察し、苦
難を乗り越えるヒントを提供する。
四六上製 五五二頁 五〇〇〇円

好評刊

ISBN978-4-7948-1023-6



版画でたどる万葉さんぽ

宇治敏彦

「恋と折りの風景」日本最古の国
民歌集「万葉集」を、歌に材を取
った版画・ペン画とともに辿る試み。
四六並製 一〇四頁 一八〇〇円

近刊

ISBN978-4-7948-1039-7



イタリア日記(1811)

スタンダール／白田 紘訳

作家スタンダールとなる以前のア
ンリ・ペールが遺した私的な旅日記。
のちのイタリア紀行文の原点！
A5上製 二二四頁 三三〇〇円

最新刊

ISBN978-4-7948-1037-3



「朝日新聞」他書評
ISBN978-4-7948-1019-9

イケアとスウェーデン
スウェーデンの文化史
「イケア」の文化史

Design by IKEA
A CULTURAL HISTORY

格好な人のために、
賢い人のために
「イケア」の文化史、イケアの文化史

イケアとスウェーデン
S・クリストフエション／太田美幸訳
「福祉国家イメージの文化史」 福祉先進国の理念と結びつく、世界最大の家具販売店のデザイン経営戦略。
四六並製 三三八頁 二八〇〇円

好評 3 刷出来
ISBN978-4-7948-1016-8

たった一つを変えるだけ
クラスを教員も自立する「質問つくり」

多くを問う者は、
多くを学ぶ、多くを保持する。
「質問つくり」の文化史、イケアの文化史

たった一つを変えるだけ
D・ウステン・リサ・サタン／吉田新一郎訳
「クラスも教師も自立する」「質問つくり」 大切な質問つくりのスキルが容易に身につく方法を紹介します。
四六並製 三〇〇頁 二四〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1031-1

AO・推薦入試の黄本
受験でも人間関係でも要になる
人生の4つのキホン

1,000人以上を合格に導いた
伝説のAO入試黄本が初公開！
「AO入試」の文化史、イケアの文化史

AO・推薦入試の黄本
小杉樹彦
「受験でも人間関係でも要となる人生の4つのキホン」 「こころすん」直伝、AO・推薦入試のコツ満載！
A5並製 一八四頁 一五〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1029-8

**スウェーデンにおける
高校の教育課程改革**
専門性に基づいた共通性の模索

大人になるまで、
すべての若者たちに、
どのような教育を提供するか
「スウェーデン」の文化史、イケアの文化史

**スウェーデンにおける
高校の教育課程改革**
本所恵
「専門性に結び付いた共通性の模索」 偏差値も入試もない、生徒本位の仕組みづくりのために。
A5上製 二四〇頁 二五〇〇円

最新刊
ISBN978-4-7948-1038-0

**100年に一人の
椅子職人**
「旭川家具の巨人」が
拓いた知的創造的産業の世界。

四六上製 二八〇頁 二五〇〇円

100年に一人の椅子職人
川嶋康男編著
「長原實とカンディバウスのデザイン・スピリット」「旭川家具の巨人」が拓いた知的創造的産業の世界。
四六上製 二八〇頁 二五〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1035-9

算数・数学はアートだ！
算数・数学のとりえ方と学び方を
一八〇度転換させてくれる本！

ある数学者の嘆き
「算数・数学のとりえ方と学び方を
一八〇度転換させてくれる本！」
「算数・数学」の文化史、イケアの文化史

算数・数学はアートだ！
P・ロックハート／吉田新一郎訳
「ワクワクする問題を子どもたちに」算数・数学のとりえ方と学び方を一八〇度転換させてくれる本！
四六並製 一八八頁 一七〇〇円

「ダ・ヴィンチニュース」書評
ISBN978-4-7948-1025-0

オトナの英語学習法
「40代」の文化史、イケアの文化史

**アラフォーから始める
オトナの英語学習法**
けんたうき
「「しないほうがいい」40のこと」英語圏在住7年の元講師が忙しい40代を強力バックアップ！
四六並製 二〇八頁 一九〇〇円

好評刊
ISBN978-4-7948-1030-4

**スヌーズレンを
利用しよう！**
「資格がなくても簡単にできる」
感覚を刺激する「バリアフリー」の
部屋」の実践方法を詳しく紹介！

四六上製 二六頁 二〇〇〇円

**スヌーズレンを
利用しよう！**
河本佳子編著
「資格がなくても簡単にできる」感覚を刺激する「バリアフリー」の部屋」の実践方法を詳しく紹介！
四六上製 二六頁 二〇〇〇円

マルク・フエロー
小野潮訳 『戦争を指導した七人の男たち』 一九一八〜四五年
並行する歴史

個別の思惑を交差させる大戦史

■評者 吉田 徹（北海道大学教授）

叙事的な映画のような歴史書である。著者は、民衆史に注目して歴史学に革新をもたらしたアナール学派の重鎮であり、歴史教養番組を長年プロデュースしてきた歴史家だ。この特質が活かされて、第1次世界大戦後から第2次世界大戦終結までの各国の指導者たちの思惑がマルクス・レドに展開され、歴史が立体的に浮き上がるような仕掛けがちりばめられる。

特徴は3つある。ひとつは、なぜ戦争の回避や同盟が選択されたのか、反対に開戦や攻撃の決断がいかに下されたのか、ヒトラーやローズベルトなど、7名の戦争指導者の認識や心理を突き合わせて究明しようとして

『日本経済新聞』2016年3月27日

いる点だ。著者の専門がロシア史ということもあって、主役級

のスターリンの言動には厚みがある。一方で、昭和天皇や蔣介石、ドゴールなど、世界大戦の中で軽視されがちだったアクターにも目配りがされ、脇役たちによって全体が引き立つ。

彼らが相互に投げかける視線を交差させて、個別の判断が全体戦争につながっていったこと、独伊枢軸はもちろん連合国内も決して一枚岩ではなかったことなどが論証されていく。例えば、戦後処理が議題にのぼったテヘラン、ヤルタ、ポツダムの各会談で浮かび上がった課題を、参加者の回想録からつき合わせて浮かび上がらせるのも、著者な

らでは手法だろう。

次なる特徴は共産主義、ファシズム、反ユダヤ主義など、国家を横断するイデオロギーが指導者の行動と計算を複雑にさせていったことが強調されていることだ。特定の世界観は戦争遂行のための合理的計算を狂わせていったばかりか、指導者の疑心暗鬼を招来させ、戦争での残酷さを増幅させていった。ナチズムとスターリニズムという2つの全体主義は、それぞれユダヤ人と反スターリンという、内部に敵を見出した点で共通していた。他方では、反共イデオロギーゆえに、1943年から本格化する戦後処理での対立は解消されず、戦後の

分断へとつながっていった。最後に、イタリアのニュース映画がなぜ戦線映像を報じなかったかなど、映像史家ならではのエピソードが随所に盛り込まれ、当時の雰囲気や再現に役立っている。映像がプロバガンダとして利用されることが一般的になった時代、それを読み解くのも歴史家の使命であろう。

指導者それぞれが、あともう少しだけ賢明であれば、先の大戦はあれほど悲惨なものとはならなかったかもしれない——一縷の望みを抱かせてくれる歴史書でもある。

四六上製 五五〇頁 五五〇〇円

ISBN978-4-7948-0971-1

戦争を指導した七人の男たち 一九一八〜四五年
並行する歴史
マルク・フエロー 著 小野潮 訳
RÉPÉTITION DES HOMMES EN GUERRE 1918-1945
Marc Fugier



「われわれの時代の問題に
よりよく対処するために」

本を売る

ある書店員の楽しみ

私の勤めるジュンク堂書店福岡店は、売場が地下一階から四階までという、とても大きな書店です。そこで学習参考書担当として働き始めてから早くも八年が経ちました。学習参考書は季節商品です。最初の頃は、季節に合わせて品揃えを変えていく作業だけで手一杯でした。しかし時間が経てば慣れてくるもので、時間に少し余裕が出てきました。その時間でフエアを考えるのが私の楽しみです。

最初に書いたように福岡店はとても広いですが、そのぶん置いている書籍の数も非常に多いので、スペースが余るといえることはありません。その貴重な売り場を利用し、学習参考書を軸にしたさまざまなフエアを行っています。

例えば、昨年「さわって学べる算数図鑑」という新刊が出たときは、「そういえば少し前に流行った図鑑があったなあ」と思い出し、調べるとほかにも実にさまざまな図鑑が出ていることがわかりました。そこで、「みんなきつと

こんなに種類があることを知らないだろうな。そうだ！『図鑑100選』みたいなフエアをやったら面白いかも！」というように着想します。テーマが決まったら、どの図鑑を選ぶか、どんなポップを作れば目立つか、などを考えるのはとても楽しい時間です。

あれこれ懸命に考えても、結果的にあまり売れないこともありまじし、思わぬものが売れたりすることもあります。フエア開催中のお客様の反応や売上から、売れた理由・売れなかった理由を分析するのも楽しいです。もちろん、売上を伸ばすために最も重要なのは、適切な品揃えや棚の整理など日常の業務なのですが、私の場合、フエアに力を入れているところが疎かになり、同僚に叱られることもあります。

それでも、こうして自分も楽しんで企画したフエアを続けていくことで、「今度は何をやるのかな？」と期待してくれるお客様が増えたらなあ……と密かに願っています。今日も次のフエアの企画を考えています。

ジュンク堂書店福岡店 馬場彩乃

本誌表示価格はすべて税抜です。

書評日誌(12・3~1・17)

書評 紹介 関連記事

- 12・3 ⑤週刊文春『イケアとスウェーデン (トミヤマユキコ)』
 12・6 ⑤佐賀新聞、熊本日日新聞『イケアとスウェーデン』(飯田豊)
 12・15 ④日中友好新聞『歌で革命に挑んだ男』
 12・20 ⑤朝日新聞『イケアとスウェーデン』(五十嵐太郎)
 12・22 ⑤読売新聞しが県民情報『滋賀の巨木めぐり』(辻宏朗氏談)
 12・28 ⑤Kyodo weekly『地方創生を考える』
 ⑤読売新聞(愛知版)『アルジェリア人質事件の深層』(著者談)
 12月号 ⑤東方『歌で革命に挑んだ男』(榎本泰子)
 12月 ⑤労働者住民医療『歌で革命に挑んだ男』(斎藤洋太郎)
 12/中 ⑤出版ニュース『アルジェリア人質事件の深層』
 2015 WINTER ⑤Teens Selection (台

- 東区立図書館)『ギヴァー 記憶を注ぐ者』
 ⑥ブッククラブ回ニュースレター『あなた自身の社会』
 2015 第18号 ⑥よめ〜る(豊中市学校司書中学校部会)『ギヴァー 記憶を注ぐ者』
 1・7 ⑤WEB RONZA『アルジェリア人質事件の深層』(福岡 聡)
 1・10 ⑥日本記者クラブ会報『政の言葉から読み解く戦後70年』(著者談)
 1・17 ⑥岐阜新聞『イケアとスウェーデン』(飯田 豊)
 1月号 ⑥地方自治職員研修『孤独死の看取り』
 1/末 ⑥10+1 website『孤独死の看取り』(柿本昭人)

4月の増刷

たった一つを変えるだけ

2400円

D・ロスステイン+L・サンタナ/吉田新一郎 訳 3刷

本を読む

戦争を指導した七人の男たち ■

「記者あつがき」がすばらしい。

本書の概要、要点がよく分かる。これを参考にして本編を読むと、今次の大戦の原因が立体的に理解できる。戦争の原因を理解した上で、いかにして平和を築くかを考えるための指針となる本だ。(世田谷区 弁理士 村重慶 85歳)

歌で革命に挑んだ男 ■

たいへん興味深く読ませていただきました。日中の多くの文献をよく調べていらつしやると敬服いたします。構想から10年以上かけた労作なればこそその厚みだと思えます。(川崎市 教員 西井和弥 52歳)

たった一つを変えるだけ ■

教員として「スキル」を伝えることが理想ですが、「スキル」を伝授するための「スキル」を自分が習得することに日々苦勞し、模索を重ねている中で、この本に出会いました。「質問する」ことの意義がよくわかり、「質問つくり」のノウハウ

ハウは是非とも身につけるべき大切なものだと思います。現在実践中です。(川崎市 教員 越智智美 50歳)

AO・推薦入試の黄本 ■

進路指導では忘れられがちな、至つて当たり前のことが受験生にもわかりやすくまとめられている。この本一冊に全てを頼つてしまうのは危険だが、一般入試では太刀打ちできないと感じ、薬にもすがりたい気持ちでいる生徒諸君には強い武器となるだろう。(岐阜市 教員 今尾吉宏 45歳)

好評刊

《被災世代》へのメッセージ

「これまで、そしてこれから」
《単身者本位社会》を超えて
大森美紀彦 一八〇〇円

歌で革命に挑んだ男

《中国国歌作曲者・聶耳と日本》
岡崎雄児 二八〇〇円

政の言葉から読み解く戦後70年

《歴史から日本の未来が見える》
宇治敏彦 二八〇〇円

三嶋暦とせせらぎのまち

《旧暦は生きてゐる》
三嶋暦の会編 一八〇〇円

編集部から

室町時代に製造が始まり、江戸時代には万能薬として広く知られた「うしろ薬」。六五〇年の長きにわたる、創業時の処方を守つてこの薬を作り続けているのが、小田原の「外郎家」です。二代目小田原十郎が「外郎丸」の口上を創作したもの、この薬で喉の不調が治つたことへの返礼だったとか。新刊「うしろ」にみる小田原は、この外郎家の歴史を軸に綴るユニークな小田原史。北条早雲の都市計画、京にひけをとらない文化水準など、知られざるエピソードが満載です！▼写真集「フィリピン残留日本人」で第25回林忠彦賞を受賞した船尾修氏のゴンゴ紀行「循環と共存の森から」好評発売中です！狩猟採集民ムブティ・ピグミーの生き方・世界観が、自然とのかかわりを見失つた私たちに多くの示唆を与えてくれます。

営業部から

- ▼直近3カ月のアマゾンでの弊社書籍売上ベスト15をご紹介します。
- ① たった一つを変えるだけ
 - ② 2017年度版 新・受験技法
 - ③ 算数・数学はアトキだ！
 - ④ 外食国際化のダイナミズム
 - ⑤ ギヴアー 記憶を注ぐ者
 - ⑥ 改訂新版 学校に頼らない和田式・中高一貫カリキュラム
 - ⑦ 新版現代ブラジル事典
 - ⑧ 作家の時間
 - ⑨ 食への？
 - ⑩ 食品セシウム測定データ745
 - ⑪ きこのつづき
 - ⑫ 読書家の時間
 - ⑬ AO・推薦入試の黄本
 - ⑭ 改訂版 新・受験技法
 - ⑮ 医学部合格の極意《国公立編》
- ⑭のむね、危険！
⑮「読む力」はこうしてつける

SBC(新評論ブッククラブ)のご案内

会員は送料無料！各種特典あり！お申し込みを！

当クラブ(一九九九年発足)は入会金・年会費なしで、会員の方々に弊社の出版活動内容を紹介する月刊PR誌「新評論」を定期的に無償で送付しております。入会登録後、弊社商品に添付された読者アンケートハガキを累計5枚お送りいただくと、全商品の中から「希望の本を一冊無料送呈する特典も」ございます。ご入会希望の方は小社HP Pフォームからお送りいただくか、メール、またはハガキにてお名前、郵便番号、ご住所、電話番号を明記のうえ、弊社宛にお申し込みください。折り返し、SBC発行の「入会確認証」をお送りいたします。